

七ころび 八起き

第14号
平成26年
秋号



医療法人達磨会 東加古川病院

Higashi Kakogawa Hospital

～未来地域に根ざした医療～

理念

- 1) 精神医療に携わることにより自覚と誇りを持ち、全力を尽くす。
- 2) 患者様、ご家族を含めた地域の人々の満足と信頼が得られるような病院づくりを目指す。
- 3) 地域精神医療に貢献するために、精神保健活動、啓蒙活動、対外活動を積極的に行う。
- 4) 安全な医療と安心できる環境を提供するために継続的な改善を重ねる。
- 5) 患者様の権利を尊重する。
- 6) 安定した経営基盤を維持する。

作品紹介

テイケア
参加者
の作品

ボンボン手芸



「精神科と認知症」

今年、団塊世代の最後の層が 65 才になります。良きにつけ、悪きにつけ、日本の社会に影響を及ぼしてきた巨大な人口の塊がそろって老人になるわけで、このことは日本社会のあり方を大いに変えることになります。医療の分野でも大きな意識変革が必要となってきます。国民の 3 人に 1 人が 65 才以上、5 人に 1 人が 75 才以上になるのですから、精神科医療においても安穩にはいきません。長生きすると認知症の発生リスクは増えます。今後、認知症は爆発的に増えると予測されています。精神科のもっているノウハウは認知症者に有効であることは勿論ですが、どんどん増えてくる彼らを前に手を拱いて見てはいきません。安直に抗認知症薬を用いて足れりとする事なく、非薬物性アプローチにも力を入れ、認知症の重症化を阻止するべく奮励努力する必要があると思っています。



院長 森 隆志



当院も従来の精神科医療を守りつつ、認知症増大への新しいノウハウをもとめていかねばならないと、切に思っている次第です。

トピックス 秋



ふれあいフェスティバル

事務長 中田 喜景

10月8日(水)台風一過秋晴れのもと『第26回ふれあいフェスティバル(第25回兵精協社会復帰促進事業)』が開催され、当院からもステージ部門に2団体が演技、演奏を披露し、グランドゴルフには3チームが参加してゲームを通じて他チームと交流しながら日頃の練習の成果を存分に発揮しました。またバザー部門には病院関係から7店舗の出店があり大変にぎわっていました。

ふれあいフェスティバルの第1回目は当院単独で病院駐車場で開催しましたが、第2回からは兵精協社会復帰促進事業と共催となりその後、近隣の病院の参加、東播地区精神科病院全体の行事となりました。当初から見ると規模・参加人数共大きくなりましたが今後も地域との交流・ふれあいと云う事を目標に参加して行きたいと思えます。



～開会式～



～ステージ部門～



～グランドゴルフ～



病棟レク “日帰り温泉ツアー～香寺荘・竹取の湯～”



西3階開放病棟 看護師 堀 芳子

秋風が肌に心地よい季節となりました。今回、西3階開放病棟は紅葉が観られる自然溢れる露天風呂へ患者様とともに裸の付き合いを行う事で、更に信頼感や深まりを・・・と一緒にゆったりお湯に浸かり、温泉を楽しみました。その時間は『癒し・解放感・リラックス』が得られ、豪華コース料理を頂き、マナーも学習出来ました。実際、公共の温泉へ行くという計画を行うにあたり、まだまだ精神疾患を持つ方への理解は、浸透されていないことを痛感し、健常者と障がい者が、共に生活できる社会が早く来ることを願いつつスタッフ・患者様とも、日帰りであります楽しい旅行気分を共有することが出来ました。



**兵庫県高齢者特別賞
おめでとうございます！**

当院の診療技術課参事藤田ヒサエです。
この度、様々な分野で県政の発展に尽力した方として「兵庫県功労者証」と「兵庫県高齢者特別賞」を受賞されました。
これからもお元気で頑張っていたきたいと思っております。



取 り 組 み

～其の1～

☆ アルコール勉強会 ☆

地域福祉連携室 浅原 力也



当院ではアルコール勉強会、院内断酒会、アルコール家族会の3つのプログラムを柱にアルコール依存症に対する取り組みを行ってきました。そんな中、「家族の力」をより一層大切にしていきたいとの思いから「アルコール家族教室」を平成25年11月より立ち上げ、現在までに2回の開催を終えました。

医師、看護師、作業療法士、臨床心理士、精神保健福祉士が一丸となり今後も年2回のペースで開催していこうと思います。次回は平成27年2月を予定しています。

医局コラム vol.13



「アロマセラピー」

医師 津田 桂子

人間には、視覚・聴覚・触覚・嗅覚・味覚といった五感があります。人間の五感への依存度は、視覚50%、聴覚20%、触覚15%、嗅覚10%、味覚5%とされています。

嗅覚への依存度は小さいですが、『香り』の特性を利用し心身に良い影響を及ぼすことは可能です。

最近、アロマセラピーという言葉をよく耳にします。『アロマ』は芳香、『セラピー』は療法の意味です。アロマセラピーでは精油を用いて、心地良い香りを嗅ぎ、心身がリラックスすることで身体の機能が向上し、併せて免疫力も向上するなどの働きをしてくれます。精油は薬ではありませんが、香りとそれぞれの効能を楽しむことで、リラクゼーションやリフレッシュ効果、身体や精神の恒常性の維持促進や不調を改善します。フランスでは、アロマセラピーを医療として行っており、医師が患者を診断し、精油の処方が出て、それを薬局に持っていくと調剤してくれます。日本では医療面よりもエステなどで、美容法やストレス解消法として普及がスタートしました。また、雑貨店などで、香りを楽しむインテリアの一種としても導入され、一般の人にも気軽に用いることができるようになりました。ラベンダーの香りにはストレス解消効果や睡眠促進効果があり、グレープフルーツの香りには精神安定効果があるといわれています。これを機会に皆様もアロマセラピーを生活の中に取り込み、様々な香りを試されてはいかがでしょうか。



取 り 組 み

～其の2～



☆ 看護研究：“私たちの看護研究発表会” ☆

看護参事 中島 雛子

去る8月8日(金)に平成26年度看護研究発表会を開催しました。昨年度とは趣を変え、4題の発表となりました。持ち時間6分、3,400字程度に原稿をまとめるには相当、推敲する努力が必要だったと思います。演題は、患者の持てる力を伸ばそうとした関わりや患者家族の心理に焦点を当てたもの、現場のストレス要因から良い環境で看護する手立てを示唆したものでした。34名が参加し、看護の質を問う学びの場を共有しました。今年のテーマを世界文化遺産に登録された富岡製糸場とし、技術革新の伝播から看護もまた、新しい技術に挑戦する思いを看護研究から見出し、脈々と続く看護の一脈になればと思いました。



外来診察のご案内

* 外来変更のお知らせ *

H26.4.1より外来診察医師の変更がありました。

下記にてご確認ください。

* 受付時間は月曜日から土曜日の8時30分～11時30分です。

曜日	月	火	水	木	金	土
午前	森院長	木村	森院長	森院長	高内	森院長
	前田	大村	高内	太田	木村	
	藤田	伊敷	谷川	前田	藤田	菊川
	谷川	太田	大村	津田	大西	大西
午後				堀野 (思春期外来)		

広報誌(PDF)はホームページからも閲覧・印刷可能です。



編集後記

夏が終わり秋になりました。私は、季節の変わり目によく風邪をひいてしまいます。なので“今年こそ風邪をひかない！”ということを目指しています。今はまだ大丈夫なので、春まで元気でいられるよう頑張ります。皆様も体調にはお気を付け下さい。
広報担当

医療法人達磨会 東加古川病院

〒675-0101 加古川市平岡町新在家 1197 - 3

TEL : 079 - 424 - 2983 (代表)

FAX : 079 - 424 - 2985

HP : <http://www.tatsumakai.jp/>

当院では2004年にISO9001を取得しています



QJ01045/ISO9001:2008



- ①公共交通機関でのご来院
JR東加古川駅下車 北口より徒歩10分
- ②お車でのご来院
加古川バイパス 加古川東ランプ下車(山側すぐ)